

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年5月14日

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービス ねいろの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースではあるが、その日の利用人数に合わせて使い方など工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	○		十分な配置をしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者が体調がすぐれないときや、落ち着きたい時、個別活動を希望する場合の場所を用意している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染症対策を行いながら、消毒はもちろん安全に配慮したレイアウトで空間づくりをしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		スタッフ間のコミュニケーション、毎日の利用者様の記録により、情報交換を行いながら参画している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		2020年施設開業の為、今回のアンケートや評価表が初めてである。今後も継続していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		2020年施設開業の為、今回のアンケートや評価表が初めてである。至急HPなどで公表していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		音楽療育に特化している事業書なので、リトミック研修に参加している	音楽療育以外の研修も取り入れていく予定
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約の際に保護者様からお聞きした情報等を元にアセスメントシートを作成し、個々のニーズや将来への見通しを元に支援計画を作成している	今後も個々の希望に添えるよう話し合いし、過ごしやすいように努めていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約の際に保護者様の個人のファイルをすぐに見れる場所に置き、出勤するスタッフ全員が目を通すようにしている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		その日の利用者様のファイルをすぐに見れる場所に置き、出勤するスタッフ全員が目を通すようにしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフで毎回行っています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		前日、または毎朝利用者の個性に応じたプログラムを立てている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個性に応じて無理がない取り組みを心掛けている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		『今日の予定』を毎朝スタッフ内で話し合い、一日の流れや担当者を決めている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		『今日の予定』を毎朝スタッフ内で話し合い、一日の流れや担当者を決めている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日誌や個人記録、結果などを業務の最後に毎回記録している	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング更新月には、全スタッフが利用者一人一人の様子など記録した書類を管理者に提出し確認、まとめた上で支援計画の見直しや決定などを行っている		
関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在まで対象者がいなかったが、今後必要になれば連携をしながら支援していく

護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			現在まで対象者がいなかったが、今後必要になれば連携をしながら支援していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お迎え時に、幼稚園や保育祖、小学校の先生方からのその日の一日の様子をお聞きし、全スタッフにも共有するようにしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お迎え時に、幼稚園や保育祖、小学校の先生方からのその日の一日の様子をお聞きし、全スタッフにも共有するようにしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		STさんやその他、相談できる場所に相談をしながら支援している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍の状況で交流は控えている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		コロナ禍の状況で交流は控えている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話、送迎時に支援中の状況や課題について報告している	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		適切な対応が出来る様に心がけている	今後、どのような形で保護者向けに家庭支援の方法を伝えていくか、検討する
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご相談の都度行っているが定期的にも積極的に行っていきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		クリスマス会等行っている	コロナ禍の状況で交流は控えているが落ち着いたら違うイベントなど計画したい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝え方や言葉の選び方などに十分注意しながら配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の状況で交流は控えているが落ち着いたら行いたい
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル作成、責任者、研修は行っている	定期的に作成済みのマニュアルを元に勉強会をしていく予定
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		消防署に来てもらい防災訓練は年に2回行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		てんかん発作のあるお子様は事前にカンファレンスを行い、緊急連絡先は電話のすぐ横に貼っておりすぐ対応できるようにしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在はアレルギーのお子様はいません	スタッフ間での共有をもとに十分気を付けて対応し、緊急対応についてもシュミレーションしていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を作成している。事業終了後やミーティング等で事故防止についての共有を行っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを元に研修会を行った	継続して、研修に行き、スタッフ間でのシュミレーションを行い研磨していく予定
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			このような状況がないが、起こりうる利用者が入所された場合は、行っていく予定